

# 家畜衛生の推進（ソフト）

【平成31年度予算概算決定額 消費・安全対策交付金 2,017（2,038）百万円の内数】

## <対策のポイント>

都道府県等が地域の実態を踏まえて実施する、家畜衛生に関する監視・危機管理体制の整備や生産性を阻害する疾病による被害の低減対策等の取組を進めます。

## <政策目標>

家畜伝染病のまん延防止措置が適切に実施されていないため、まん延させてしまった事例の件数を0件とすること

### <事業の内容>

#### 1. 監視体制の整備

- 家畜保健衛生所において検査精度を担保する上で不可欠な検査機器の整備及び校正を支援します。

#### 2. 危機管理体制の整備

- 防疫演習の実施や病性鑑定ネットワーク体制の構築等の取組を支援します。

#### 3. 家畜衛生対策による生産性向上の推進

- 地域で課題となっている生産性を阻害する疾病について、関係者が一体となった衛生対策の仕組みづくりや病原体を拡散するおそれのある野生動物に対する対応等により、疾病による損失防止の取組を支援します。

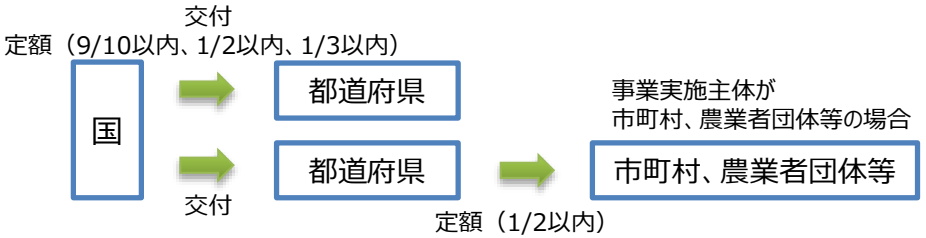
#### 4. 畜産物の安全性向上

- 生産段階におけるHACCPの考え方を採り入れた飼養衛生管理の普及・定着等による畜産物の高付加価値化の取組を支援します。

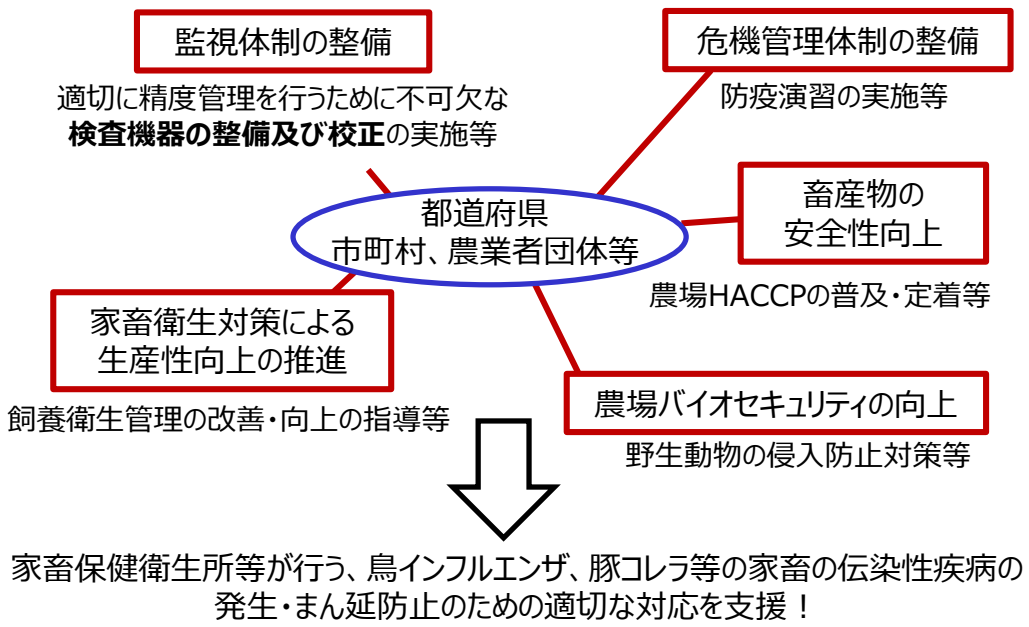
#### 5. 農場バイオセキュリティの向上

- 地域一体となった、農場のバイオセキュリティの向上による経営安定の取組を支援します。

## <事業の流れ>



### <事業イメージ>



(鳥インフルエンザの症状)



(豚コレラの症状)  
写真提供：農研機構動物衛生研究部門



(豚流行性下痢の症状)

【お問い合わせ先】 消費・安全局動物衛生課 (03-3502-8292)

家畜衛生の推進（ソフト）のうち家畜の伝染性疾病の発生・まん延リスクの高い地域における清浄性維持に向けた取組  
 【平成31年度予算概算決定額 消費・安全対策交付金 2,017（2,038）百万円の内数】

**<対策のポイント>**  
 海外悪性伝染病等の発生・まん延リスクが高い地域を対象に、  
 ①野生動物の清浄性確認検査に係る経費  
 ②野生動物が海外悪性伝染病等の病原体を拡散する恐れがある場合の、地域におけるバイオセキュリティ対策の実施に係る経費を支援します。

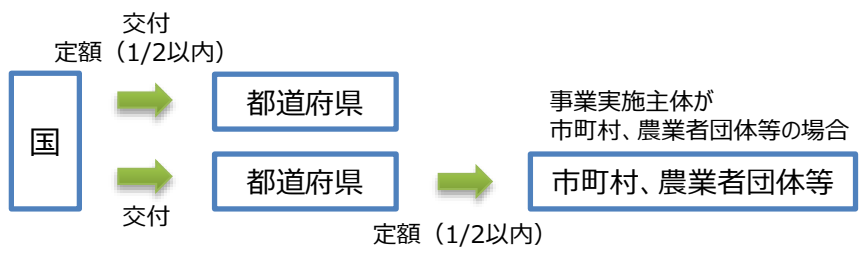
**<政策目標>**  
 家畜伝染病のまん延防止措置が適切に実施されていないため、まん延させてしまった事例の件数を0件とすること

**<事業の内容>**

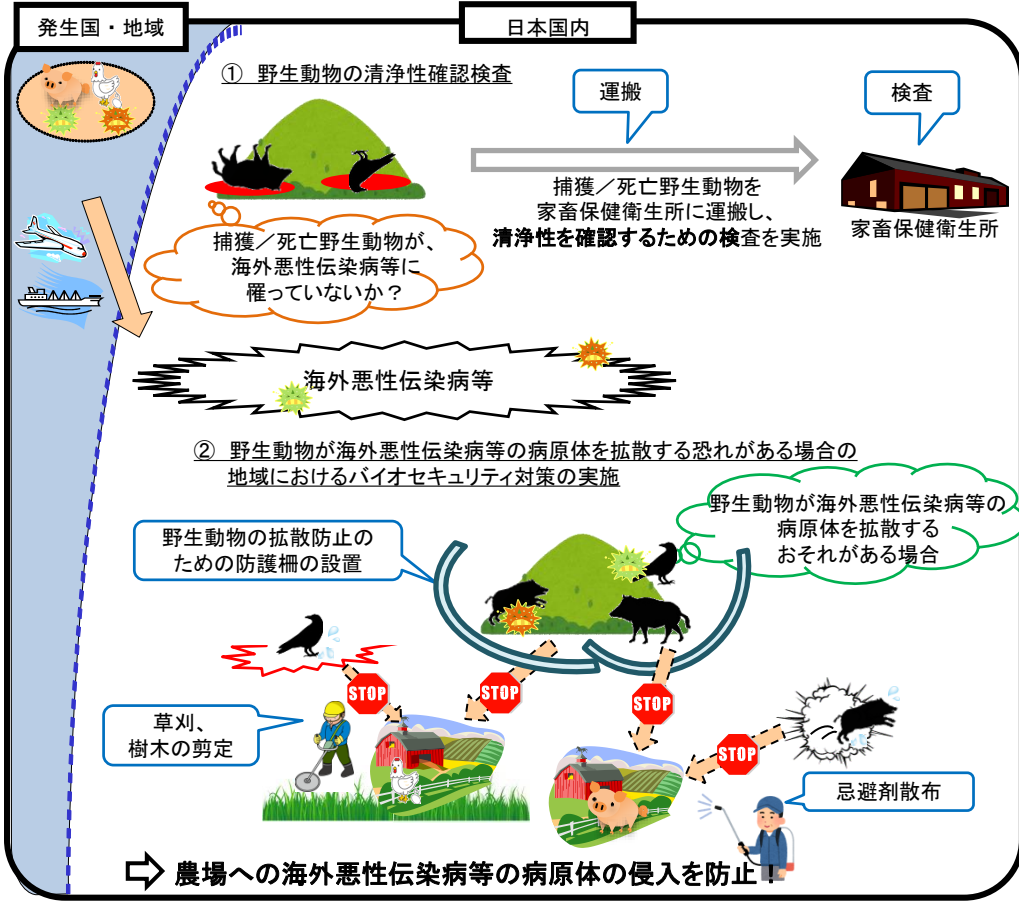
**家畜衛生対策による生産性向上の推進**

- 海外悪性伝染病等の発生・まん延リスクが高い地域を消費・安全局長が指定した上で、当該地域を対象に、
- ①野生動物の清浄性確認検査に係る経費、
- ②野生動物が海外悪性伝染病等の病原体を拡散する恐れがある場合の地域におけるバイオセキュリティ対策の実施に係る経費を支援します。

**<事業の流れ>**



**<事業イメージ>**



### <対策のポイント>

都道府県等が地域の実態を踏まえて実施する、適切な病性鑑定を実施するために必要な**家畜保健衛生所の施設整備**や、**地域における疾病のまん延を防止するために必要な施設整備の取組**を支援します。

### <政策目標>

家畜伝染病のまん延防止措置が適切に実施されていないためにまん延させてしまった事例の件数を0件とすること

## <事業の内容>

### 1. 高度バイオセキュリティ対応施設の整備【拡充】

- 家畜保健衛生所等において、家畜の伝染性疾病の発生時に迅速な病性鑑定を実施し正確な診断結果を得るため、**高度なバイオセキュリティを完備した検査施設**や、遺伝子専用検査施設、採材、検査、病性鑑定畜の保管、感染性廃棄物処理等の関連施設及び**精度管理に係るマニュアルの作成や検査データの管理**等を行う**精度管理関連施設の整備**を支援します。

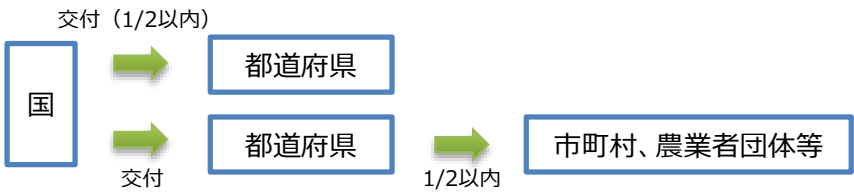
### 2. 地域における車両消毒施設の整備

- 地域における疾病のまん延を防止するため、多数の畜産関係車両が出入りする畜場、家畜市場等の出入口における**車両消毒施設の整備**を支援します。

### 3. BSE検査対象死亡牛の一時保管施設の整備【新規】

- **BSE検査対象となる死亡牛の範囲の見直し**により検査対象頭数が減少することに対応して、一時保管施設を集約する場合、その**一時保管施設の整備**を支援します。

### <事業の流れ>



## <事業イメージ>

### <精度管理関連施設の整備>

適切に精度管理を行うために不可欠な

- ・標準作業書等の作成、保管
- ・検査データの管理

等を実施するための施設を整備



要領等の作成・保管

精度管理が義務付けられると

- ・大量かつ多様なデータの一括管理
- ・データの信頼性確保のため、セキュリティの強化

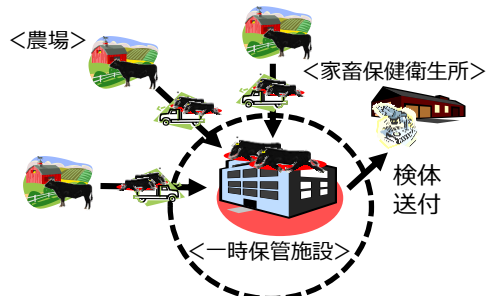
が必要となる

### <死亡牛一時保管施設の集約化>



BSE検査対象となる死亡牛の範囲の見直しにより、検査対象頭数が約6割減少する見込み

→ 既存の一時保管施設における検査対象牛対応の稼働率が下がる



これまで、複数の一時保管施設に保管していた検査対象死亡牛について、1つの一時保管施設に集約した場合



**業務の効率化が図られる**